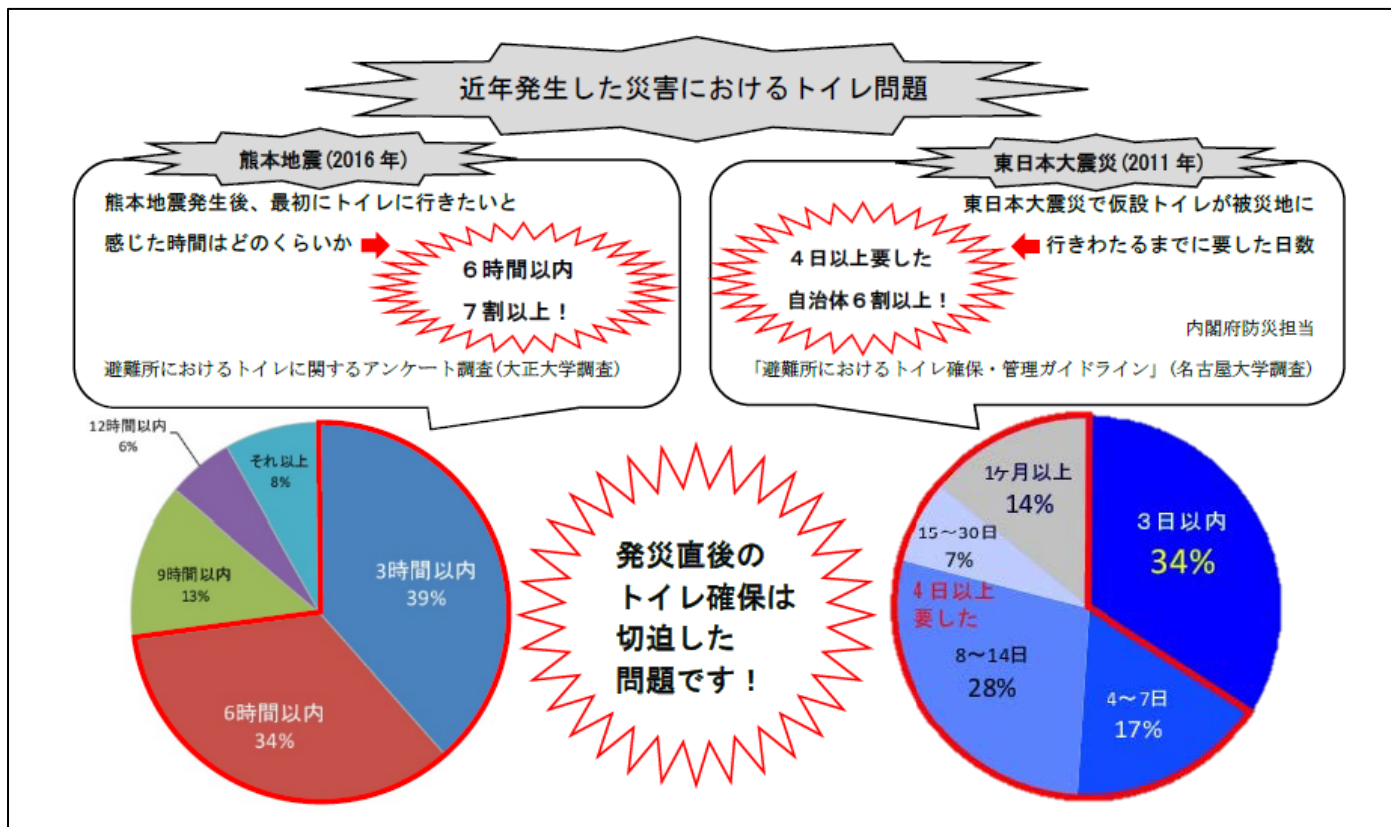


トイレパック 備蓄してください！！

大地震が起こると、上下水道管が壊れてしまい 水洗トイレが使用できなくなる 可能性があります。

そんな時の備えとしてご家庭での トイレパックの備蓄 をお願いしています。



○備蓄量の目安は？

一人当たり 15 個程度 (1日5個×3日分) の備蓄をしましょう

○トイレパックって何？

上下水道管が壊れて使用できなくなった水洗トイレの便器に、ビニール袋を被せて、大小の用を足すことが出来るようにするものです。凝固剤で固めるタイプや吸収シートを使うタイプ等、様々な種類があります。

【凝固剤タイプの使い方】

①色のついたビニール袋と凝固剤のセットです。



②ビニール袋を便座の上から被せて用を足した後に上から凝固剤を振りかけます。



③使用後は燃やすごみに出します。

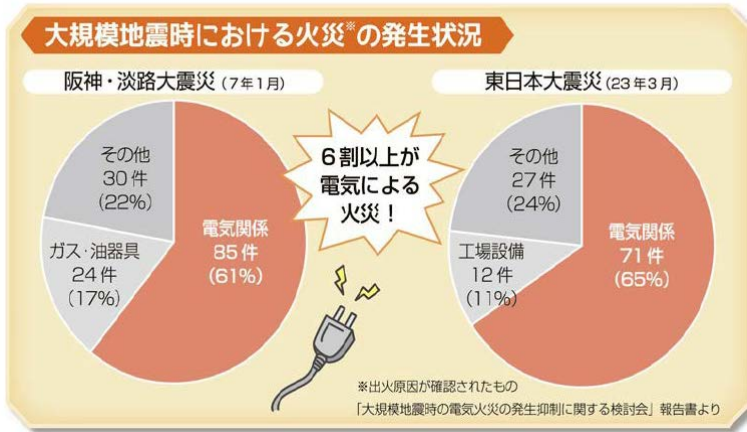


※最初にビニール袋を2重にかぶせておき、使用後は内側の1枚を取って結んで捨てます。

《 そのほかの『自助』の取組 》

○ 感震ブレーカー—ご存じですか？

地震の大きな揺れで電気を自動的に遮断し、「電気火災」を防ぐ効果が大きい器具です。



阪神・淡路大震災や東日本大震災で発生した火災（出火原因が確認されたもの）の6割以上が電気に起因する火災（電気火災）とされています。

「電気火災」には地震の揺れに伴う電気機器からの出火や停電が復旧したときに発生する火災（通電火災）などがあります。

感震ブレーカーは、地震の大きな揺れで電気を自動的に遮断し、電気火災から、ご自宅と地域を守るためにも感震ブレーカーの設置をお願いいたします。

○ 家具の転倒防止を実施しましょう！

家具の転倒防止は減災行動の基本です。日ごろからの備えとして家具を固定し、万が一家具が倒れた場合に備えて家具は安全な場所に配置しましょう。

L字金具



家具と壁をネジで固定します。壁に強度が必要です。

耐震マット

粘着性のゲル状のもので、家具の底と床を接着させます。



つっぱり棒

家具と天井の間に設置します。天井に強度が必要です。



【ベルト式】



【チェーン式】



《 『共助』の取組 》

○ 安否確認バンダナお持ちですか？

大地震発生時、ご自身やご家族の「無事」が確認できたら、ご自宅の外から見えやすい場所に「災害時安否確認バンダナ」を結んでください！

バンダナが無事を知らせる目印となり、隣近所や、自治会町内会などによる安否確認をスムーズに行う手助けになります。

※お持ちでない方には、区役所6階総務課の窓口でお渡ししています。（事前にご予約下さい。）



バンダナを玄関に結んでいる様子▶

